



令和元年8月22日  
政策局政策課

## 「IRの実現に向けて」について

内容については、別紙「IRの実現に向けて」をご覧ください。

お問合せ先		
政策局政策部政策課担当課長	幸 孝憲	Tel 045-671-4328



# IRの実現に向けて

横浜市

令和元年8月

あらたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



# 横浜市の現状と課題

## 横浜を取り巻く状況と課題

### 横浜を支える人口・経済の見通し

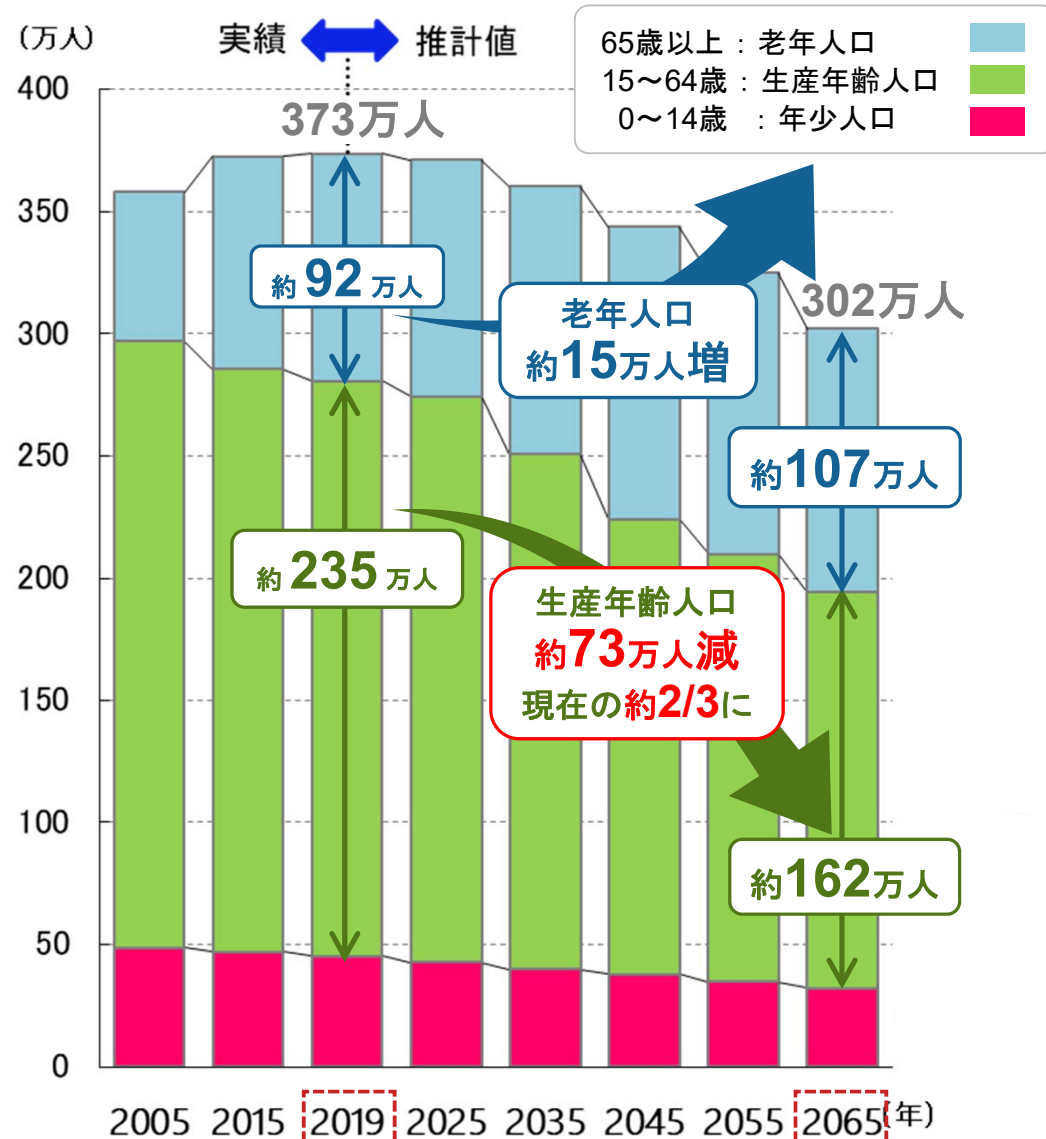
- 2019年をピークに人口減少にシフトし、生産年齢人口の減少、老年人口の増加
- 消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況の見込み



横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など、市民の安全・安心な生活をしっかり維持してための最も良い方法を検討

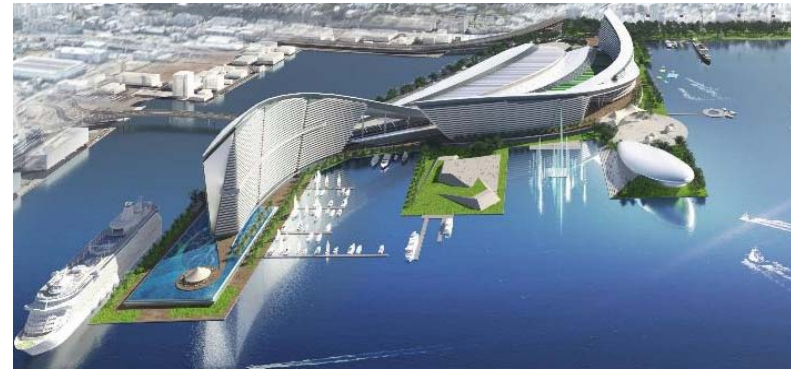
## 人口構成の推移について

### 【横浜市の人口構成の推移】



## 事業者からの提案

### イメージ図



### MICE施設

- 我が国最大級の国際会議場や展示施設
- 施設規模 : 138,000~192,000m<sup>2</sup>

### 宿泊施設

- グローバル水準のラグジュアリーで大規模なホテル
- 客室数 : 2,700~4,800室

### エンターテインメント施設

- 一流のエンターテインメントが提供されるアリーナ
- 子供も楽しめるアトラクション施設



ビジネス客からファミリー層、国内外からの観光客だけでなく、  
横浜市民の皆様にも楽しんでいただける統合型リゾートの実現の可能性

# 日本型IR(統合型リゾート: Integrated Resort)

## 日本型IRのコンテンツ

### IR集客施設のコンテンツについて(イメージ)

昼夜を問わず、ビジネスからファミリーまで、幅広いコンテンツが提供されます。



出典：特定複合観光施設区域整備推進会議資料より作成

インバウンドや宿泊客の増加、ナイトタイムエコノミーの充実といった、横浜観光の弱点を克服し、成長戦略の中核となる観光・MICEを牽引していく力がある

## 想定される横浜IRの事業性、経済波及効果等

我が国を代表する  
スケール  
と  
クオリティ

### IR誘致

#### 統合型リゾート

- 国際会議場
- 国際展示場
- ホテル
- エンターテインメント施設
- レクリエーション施設

### 観光の振興

- **インバウンドを含むIRへの訪問者数**  
2,000万～4,000万人/年
- **IR区域内での消費額**  
4,500億～7,400億円/年

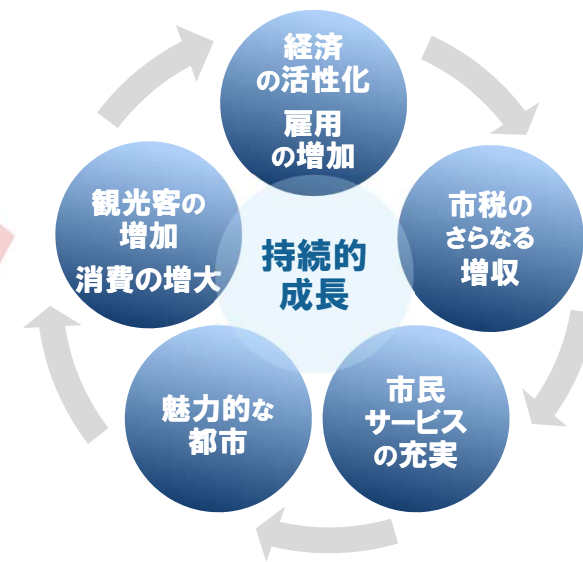
### 地域経済の振興

- **経済波及効果** (間接効果含む) [※]  
建設時: 7,500億～1兆2,000億円  
運営時: 6,300億～1兆円/年
- **雇用創出効果** (間接効果含む) [※]  
運営時: 77,000～127,000人/年

### 財政の改善への貢献

- **地方自治体の増収効果** [※]  
820億～1,200億円/年  
(納付金収入、入場料収入、法人市民税、固定資産税、都市計画税)

魅力ある都市横浜の  
さらなる飛躍



[※] 事業者から提供された数値を基に、委託先の監査法人が整理

これまでにない経済的社会的効果を想定

# 懸念事項に対する取組

## ギャンブル等依存症や治安悪化などへの対策

### IR整備法（2018年7月）

- 免許制等によるIR事業者の参入規制
- 日本人等の入場料(6,000円)、入場回数制限
- 20歳未満の者、暴力団員等の入場等を禁止

### 「世界最高水準のカジノ規制」

### ギャンブル等依存症対策基本法（2018年7月）

### IR整備法施行令（2019年4月）

カジノを行う区域の面積上限を、IR施設の床面積合計の3%

### ギャンブル等依存症対策推進基本計画(2019年4月)

「依存症対策の基本的事項」

多機関の連携・協力による総合的な取組の推進

### 事業者から示された懸念事項対策の例

- マイナンバーカードや顔認証などによる厳格な入場管理
- 「自己排除」、「家族排除」による利用制限
- 事業者と警察を含む行政が連携し、IR区域や周辺地域の地域環境対策を強化 など

あらゆる関係者が協力することで、

- 依存症の方を増やさないように取り組む環境
- 治安悪化などへの対策を強化する環境

が整ってきた

# IRに関する市民のご理解

## IRに関する市民説明会

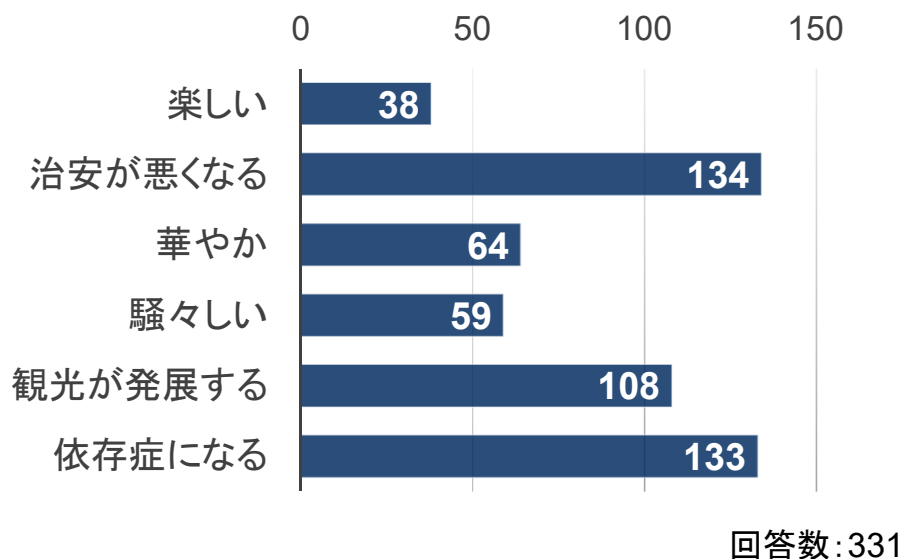
### 市民説明会の概要

- 開催期間: 令和元年6月25日、26日
- 開催場所: 市内4か所 (中区、保土ヶ谷区、都筑区、戸塚区)
- 参加者数: 350人(アンケート回答者数: 333人)

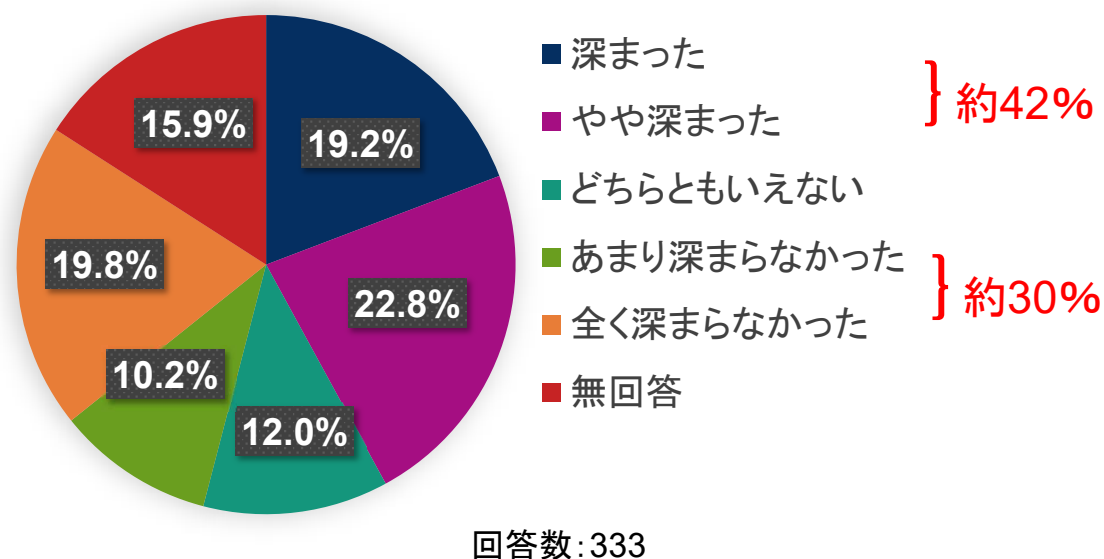
当日は治安や依存症などに関する否定的なご意見をいただきました。一方で、中立的なご意見やIRに期待するご意見もありました。

### アンケート結果の一部

#### Q.説明後のIRのイメージについて(3つまで)



#### Q. 説明後、IRへの理解がどの程度深まりましたか



#### アンケートの自由意見の一部

- ・「税金を増やすためにギャンブルのお金をあてにするのはいやです」
- ・「最初は反対であったがやや考え方が変わってきた」等

## 経済界からの期待

横浜商工会議所からの要請書「横浜IR(統合型リゾート)の申請表明に関する要請について」(7月18日)



## 横浜IRの立地場所について

### 30年度の調査結果

想定立地場所: 12者全てが「山下ふ頭」を想定



### 「山下ふ頭」の優位性

- 広大でシンボル性の高い敷地
- 利便性の高い交通アクセス
- MM21地区から続く魅力的なウォーターフロントの景観

都市型リゾートとしての高いポテンシャル

## IRに対する考え方

### 経済効果

これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、横浜が抱える諸課題に有効な対応策となりうる

### 懸念事項

依存症の方を増やさないための制度など環境が整ってきた

### 市民のご理解

丁寧に説明を継続していくことでIRに対するご理解が深められるよう進める



これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、我々の子供達の世代においても、将来にわたり成長・発展を続けていくためには、

**横浜においてIRを実現する必要があると判断**

## 今後のスケジュール

